

統合さらに遅れも

瓜生、熊川小

若狭町 熊川地区同意得られず

若狭町が2022年4月に瓜生小と熊川小を統合する計画について、中村正一教育長は7日、町会一般質問で「賛成や反対など多くの意見がある」と述べ、現時点で地元同意が得られていないとした。記者団に対し、年末までに統合への同意が得られなければ、さらに統合が遅れる可能性を示唆した。

【2面に関連記事】

中村教育長や町教委によると、熊川地区の地域づくり協議会などが行った7月の

熊川地区住民アンケートでは、回答のあった153世帯のうち、統廃合に賛成が33、反対41、スクールバスの運行など「条件付き賛成」が46、「よく分からない」が33世帯だった。8月上旬の住民説明会では、過去に上中で熊川地区のみ保育所が統廃合されたことを挙げ「熊川でまた学校がなくなるのは納得できない」などの声が上がったという。中村教育長は今後、アンケート結果を精査し、住民説明会で改めて統廃合の必

要件を説いていくとしている。

小学校統廃合について町

はこれまでに、明倫小を三方小に、熊川小を瓜生小へそれぞれ統合する基本計画

案を作成。昨年10月から今年1月にかけて住民説明会を開いたが賛同が得られず、

当初2021年4月統廃合の予定だったのを既に1年遅らせている。(北川龍次)